

# 地域づくりインターン事業

7月20日から8月19日にかけて、地域づくりインターン事業が行われ、首都圏を中心に5名の大学生がインターン生として、本町で農業体験や地域での聞き取り取材などを行いました。

そのインターン生の声を2号にわたって紹介します。

このインターン事業に対して、受け入れ家庭をはじめ町民の方々に多大なるご協力をいただき、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 大城 執

◎派遣期間 8月6日～8月19日

錦江町で過ごした2週間は自分の人生に大きな刺激となりました。大人のマナーや礼儀を教わったり、初めての農業生活、祭りスタッフは未熟な私にとって新鮮で良い経験となりました。この2週間は錦江町やお世話になった福岡和徳さん一家との付き合いの『きっかけづくり』に過ぎない、という言葉が一番印象に残っています。錦江町や役場の方々、福岡和徳さん一家は、本当に温かい人たちで、私は錦江町が好きになりました。2週間本当にありがとうございました。



扇落としの滝で男らしく！

## 大貫 由美子

◎派遣期間 8月6日～8月19日

インターンでは、いろいろなところに連れていってもらい、たくさん体験をさせていただきました。本当に濃い時間を過ごしました。

特に上部地区のみなさまには、感謝してもしきれません。毎日、人の温かさに触れることが出来ました。上部地区のつながり、温かさは、日本の大切な部分だと思います。上部地区の和がもっともっと大きくなったら素敵だと思いました。

私もこれから東京で、和を大切にがんばります！！

本当にありがとうございました！！



田代地区の田園風景（お気に入りの一枚）

## 大石 南

◎派遣期間 8月6日～8月19日

畑で野菜を取った時の植物のたくましい姿や稲刈りで稲の根の力強さを感じた時、私達が食べている一つ一つの食材にも命があることに気づきました。そして営農組合の方の稲一粒も無駄にしない姿勢や森林組合の方の山への熱い思いを見聞するうちに、命や資源を大切に、作物を育て、その場所を守っている人がいて初めて私たちの生活が成り立っていることを実感しました。都会に運ばれる作物も山があり、畑があり、育てた人が存在して初めて成り立つことに気づけたことは私にとってとても大きかったです。これからは作物を育てた人や作物を育んだ自然に感謝して「いただきます」「ごちそうさま」と言うようにしたいです。13日という短期間でこんなに多くの経験ができたのは、町内や役場の人、その他数えきれない人の温かな支えがあったからです。大学生活でこの体験が新たな学びにつなげられるよう、この体験を大学の学びの中でも生かして学んでいきたいと思っています。



大好きな上部地区の皆さんと楽しく一枚